



1000年巡礼 巡り合いの旅へのお誘い

草創1300年という悠久の歴史を有する、日本最古の巡礼道、日本遺産「西国三十三所観音巡礼」と1000年以上続く世界遺産「サンティアゴ巡礼路(スペイン王国)」が、宗教を超えて「巡礼文化」の興隆を願い、2023年4月18日スペイン大使館にて「巡礼文化友好提携」調印式を実施し、ありがたく両巡礼文化の締結をさせていただきました。これを記念し、世界平和、人類和合、巡礼文化興隆を願い、6月18日にサンティアゴと西国三十三所両巡礼道、そして、観音巡礼文化を有する坂東、秩父霊場の一部を歩く「同日巡礼」を行い、そして10月には「サンティアゴ・デ・コンポステラ表敬訪問の旅」を実施させていただきます。

10月の表敬訪問の旅では、巡礼道復興に多大な貢献をされたエリアス・バリーニャ神父(1929-1989)ゆかりの地、オ・セブレイロ村や巡礼最果ての地フィステラとムシアも訪問します。旅のハイライト"サンティアゴ・デ・コンポステラ"では、世界中からの巡礼者を出迎えてくれる大聖堂訪問のほか、両巡礼道をピアノで繋ぐ、サンティアゴ在住のピアニスト、川上ミネ氏の特別コンサートと、調印記念晩餐会を開催させていただきます。

国、人種、宗教を超えて、世界の多くの方々の足跡が残る二つの巡礼道の「精神文化」を育むためにも、皆様の更なるご理解と、ご協力を賜りたく存じます。巡礼史に残るこの度の締結を機に「1000年巡礼 巡り合いの旅」に是非ともご参加いただきたく、心から祈念しております。 合 掌

日本遺産「日本の終活の旅」推進協議会・西国三十三所礼所会 会長
西国第十五番礼所 今熊野観音寺 山主 藤田浩哉 拜

二つの巡礼道は千年以上の長い歴史を持ち、どちらも信仰や希望、慈悲の道として多くの人が足を運ぶ。今回の協定で日本・スペイン間の友情、文化の普及がより強化されることになる。未来に向けて交流を深め、希望や慈悲のために協力していきたい。

4月18日調印式 ガリシア州政府観光局 マリア・カストロ局長のメッセージ

日程

日次	月日	場所	交通	時間	日程	食事
1	10/2 (月)	関西空港発	EK317	21時 23:45	※日本各地から関空へご集合 (国内線の手配をご希望の方は承ります) ご集合、エミレーツ航空カウンターでチェックイン エミレーツ航空でドバイへ	夕機
2	10/3 (火)	ドバイ空港着 ドバイ空港発 マドリード空港着	EK141 専用車	04:50 07:40 13:25 夕方	ドバイ着、乗継ぎ マドリードへご出発 マドリード空港到着 専用車でマドリード市内へ 市内観光(プラド美術館など) ホテルチェックイン (マドリード泊)	朝機 昼機 夕〇
3	10/4 (水)	マドリード オ・セブレイロ ルーゴ	専用車	朝 午後	朝食後、チェックアウト 標高1300mの村オ・セブレイロへ(440㌔、約5時間) 巡礼路で一番古く、サンティアゴ巡礼路復興の拠点となった サンタ・マリア・ラ・レアル教会への訪問とミサ エリアス神父ご家族経営のレストランで昼食 ルーゴに移動(70㌔、1時間弱) (ルーゴ泊)	朝〇 昼〇 夕〇
4	10/5 (木)	ルーゴ モンテ・ド・ゴン サンティアゴ・デ・ コンポステラ	専用車 徒歩	朝 午前 午後 夕方	朝食後、チェックアウト 古代ローマの城壁がある世界遺産ルーゴ観光 欲びの丘に立ち、サンティアゴの町を眺望 サンティアゴへ(希望者は徒歩でサンティアゴまで巡礼。約4km) 昼食後、サンティアゴ市内観光 ホテルチェックイン (サンティアゴ・デ・コンポステラ泊)	朝〇 昼〇 夕×
5	10/6 (金)	サンティアゴ・デ・ コンポステラ	徒歩	午前 昼 夕方 夜	自由時間 ホテルロビー集合、大聖堂のミサに参加 サンチャゴ在住ピアニスト川上ミネ ピアノリサイタル (於:サンマルティンピナリオ修道院にて) 晩餐会場(パラドル)に移動し、 両巡礼文化友好提携調印記念晩餐会 (サンティアゴ・デ・コンポステラ泊)	朝〇 昼×
6	10/7 (土)	サンティアゴ・デ・ コンポステラ	専用車	終日	朝食後、専用車にて巡礼最果ての町フィステラ、 ムシア観光 (サンティアゴ・デ・コンポステラ泊)	朝〇 昼〇 夕〇
7	10/8 (日)	サンティアゴ・デ・ コンポステラ サンティアゴ発 マドリード着 マドリード空港発	専用車	朝 9:15 10:30 15:20	朝食後、チェックアウト 専用車でサンティアゴ空港へ 国内線(イベリア航空)でマドリードへ 着後、荷物をピックアップ エミレーツ航空カウンターで再チェックイン エミレーツ航空でドバイへ	朝〇 昼×
8	10/9 (月)	ドバイ空港着 ドバイ空港発 関西空港着	EK316	00:45 03:00 17:15	ドバイ空港着 関空に向けて出発 関空着 到着後、解散 (関空到着後の後泊、移動手配があるお客様には 別途ご案内いたします)	朝機 昼機 夕機

※天候や交通事情のやむを得ない理由により、日程が変わる場合がございます。

サンティアゴ・デ・コンポステラ 祈りと喜びの街へようこそ

ローマ、エルサレムと並ぶキリスト教世界三大巡礼聖地の一つ、サンティアゴ・デ・コンポステラ。ヨーロッパの最西、大西洋に面したこの街を目指して、1千年以上も前から人は長い道のりを歩いてこの街にやって来ました。石畳と椿の街路樹に覆われた世界遺産の街は常に活気に満ち溢れ、旅を終えた人々の祈りと喜びに彩られています。

学生時代に初めて訪れて魅了され、今では一年の半分以上を過ごしているサンティアゴ・デ・コンポステラのとっておきの場所へ皆様をご案内したいと思っています。

たくさんの笑顔に溢れたこの街にただで幸せな気持ちになっていただけると確信しています。また、リアスの海岸から届く新鮮な魚介類や肥沃な大地に育まれたガリシア産の農産物の郷土料理も、きっと皆様を北スペイン料理の奥深さに誘うことでしょう。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。

ピアニスト 川上ミネ



プロフィール

ピアニスト・作曲家。日本、スペイン、中南米各地の情景を色彩豊かに音で表現する。NHKの番組音楽を多数担当。愛知万博モリゾーとキッコロのテーマ曲、スカイマークの機内テーマ音楽など制作。世界の名だたる大聖堂や寺社で史上初の演奏会を敢行する独特な演奏家。現在はサンティアゴ・デ・コンポステラ(スペイン)と京都を拠点に活動。世界遺産サンティアゴ大聖堂のミサでは川上ミネの曲がパイプオルガンで生演奏されている。日本スペイン交流400年事業公式ピアニストとしてテーマ曲を作曲、芸術監督を担う。

ムシア

絶景と美食の街と呼ぶ人もいるムシアは、崖っぷちに建てられた教会と海岸に強く打ち寄せる波が独特な雰囲気を持った小さな海辺の街です。丘の上には十字架が立っており、巡礼を終えた巡礼者たちが立ち寄ることも多く、丘の上からは大西洋と、振り向けば可愛らしいムシアの町並みを眺めることが出来ます。ヤコブの元に聖母マリアが現れたのがムシアの海岸だと言われています。

サンティアゴ・デ・コンポステラ

世界中の巡礼者や観光客を惹きつけるサンティアゴ・デ・コンポステラ。国境が開いた2022年にはコロナ前を超える44万人が訪れました。巡礼の見知るし「杖と帆立の貝殻」を持った巡礼者たちが、終点の大聖堂前広場で喜び合う姿はとても感動的です。大聖堂へ続く旧市街の道を歩きながら、千年以上にわたりサンティアゴ・デ・コンポステラを目指した巡礼者たちに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

フィステラ岬

ラテン語で「陸地の終わり」を意味する finisterrae という名前がついたこの岬はヨーロッパ大陸の終点。その起源は明らかになっていませんがサンティアゴの巡礼を終えた旅人たちが寄る最終目的地でもあります。たくさんの巡礼者たちが、最後にここで風光明媚な景色を眺め、長かった旅の終わりを噛み締めます。

オ・セブレイロ

オ・セブレイロはセブレイロ岬にある小さな村落で、石造と茅葺き屋根の家屋が特徴的です。茅葺き屋根の古い家の中には改装し民俗学博物館として使用されているものもあり、この村や国の歴史に触れることが出来ます。また1986年以降、オ・セブレイロの神父エリアス・バリーニャは、巡礼者が道に迷わないように巡礼路の様々な場所に黄色い矢印を道に描き始めたとして知られており、多くの巡礼者がこの村落を訪れます。

スペインの中心部にある首都マドリードは歴史的な建築物や美術館、公園に恵まれ、観光客にも人気の都市です。純粋なスペイン的な様式の建築物や広場を見ることができるところに大きな魅力があり、最も重要なスペイン絵画が展示されている国立美術館が多くあります。

サンティアゴ巡礼

サンティアゴ・デ・コンポステラへの徒歩巡礼は、キリスト教の三大巡礼地のひとつであるスペイン北部の都市サンティアゴ・デ・コンポステラの大聖堂にある聖ヤコブの墓に礼拝するための旅のことで。巡礼路は、人気の高いフランス人の道をはじめ、距離や難易度、そして景観までもが全く異なる全11の道が存在します。長い道のりを足で歩き、景色や達成感を味わうことで、新しい発見があるかも知れません。

